

[総合的な学習の時間に関する調査結果]

日本新聞教育文化財団N I E委員会
平成14年2月20日

調 査 概 要

- (1) 調査期間：2001年11月5日～12月31日
- (2) 調査方法：郵送法（実践代表者が記述）
- (3) 調査対象：2001年度NIE実践継続校（202校）の実践代表者
- (4) 回答者数（回答率）：84人（41.6%）

回答者内訳

学 校 種	
①小学校	39
②中学校	32
③高等学校	10
④そのほか	0
⑤不明	3

問1 2001年4月から2002年3月までの間に、何単位時間を「総合的な学習の時間」に充てますか？

(単位=人)

0～15単位時間未満	8
15～30単位時間未満	6
30～45単位時間未満	16
45～60単位時間未満	3
60～75単位時間未満	24
75～90単位時間未満	6
90～105単位時間未満	4
105単位時間以上	14

※1単位時間は原則として45分～50分として算定

2001年4月から2002年3月までの間に、何単位時間を「総合的な学習の時間」に充てるか尋ねた。最も多かったのは70時間の23人で、これは週2時間を充てていることになる。週3時間以上(105時間)充てている実践者は14人いた。

問2 そのなかで新聞利用学習の占める割合はどの程度ですか？

(単位=人)

1割未満	25
1割以上2割未満	27
2割以上3割未満	14
3割以上4割未満	8
4割以上5割未満	2
5割以上6割未満	5
6割以上7割未満	0
7割以上8割未満	0
8割以上9割未満	1
9割以上10割未満	0
10割	2

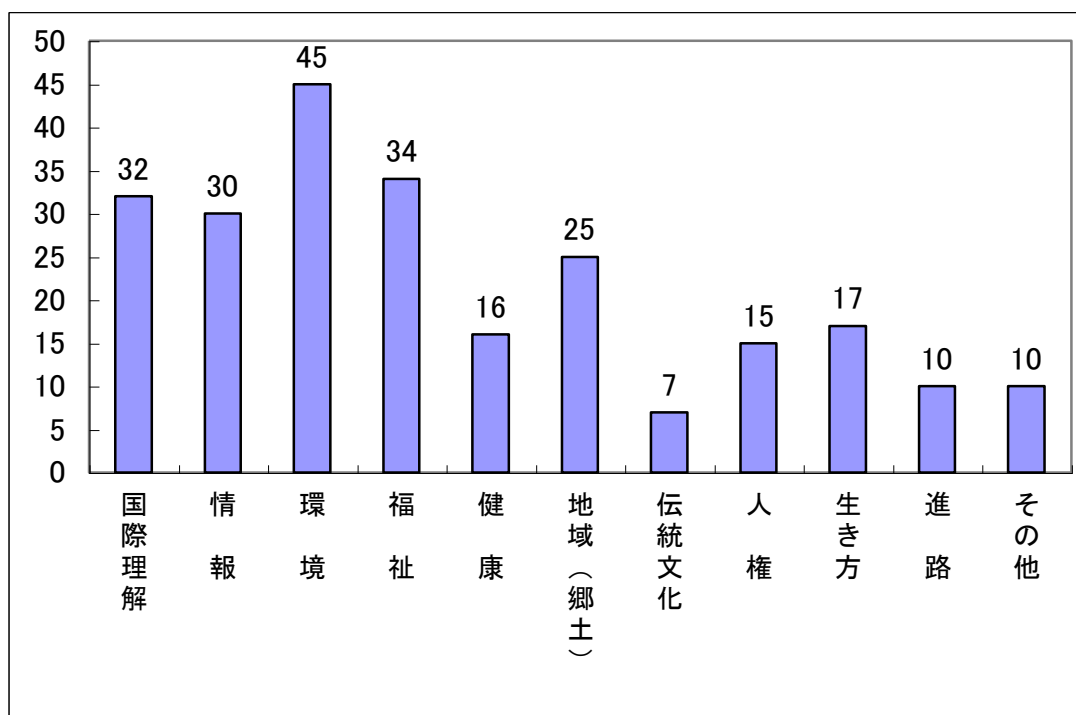
「総合的な学習の時間」の中で新聞を利用した学習にどの程度の割合を割いているかを尋ねた。「1割以上2割未満」が最も多く27人で、次いで「1割未満」(25人)、「2割以上3割未満」(14人)、「3割以上4割未満」(8人)と続いている。すべての時間に新聞を利用したのも2人いた。

問3 各学校で新聞を活用したのはどのようなテーマですか？（複数回答可）

（単位＝人）

		全	小	中	高	他
1	国際理解	32	14	15	3	0
2	情報	30	18	11	1	0
3	環境	45	23	20	1	1
4	福祉	34	16	15	3	0
5	健康	16	5	9	2	0
6	地域（郷土）	25	14	9	1	1
7	伝統文化	7	4	3	0	0
8	人権	15	7	8	0	0
9	生き方	17	5	11	1	0
10	進路	10	0	7	3	0
11	その他	10	5	4	0	1

（単位＝人）



「総合的な学習の時間」にどのようなテーマで取り組んでいるかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「環境」、次いで「福祉」、さらに「国際理解」「情報」「地域（郷土）」が続いている。校種別にみると、中学校では先に挙げたテーマ以外に「生き方」が多い。高校は、テーマが分散し、先に挙げたテーマ以外に「進路」が上位に入っている。中学校

でも7人が「進路」で取り組んでおり、「生き方」と合わせると、「環境」に次いで2番目に多い取り組みとなる。

「その他」のテーマとして次のような記述があった。「子供会、交通」「新聞作り」「政治」「議題設定のための情報収集」「樹木に関して」「個々の興味に沿って」「経済」「自己表現力」「新聞活用の仕方について」。

問4 実践テーマによる授業時と、利用した新聞記事の掲載日時との間にずれはなかった（ない）でしょうか。

(単位=人)

		全	小	中	高	他
1	なかった（ない）	17	6	8	3	0
2	あったが特に気にならなかった（気にならない）	36	21	12	1	2
3	ズレが問題となり以下のような工夫で解決した（する予定）					
	A テーマについての新聞記事を教師が数点ピックアップし、児童・生徒に提示するなど、当該テーマについての経過が分かるようにした（する予定）	9	6	3	0	0
	B 児童・生徒たちにインターネットや蓄積した切り抜きなどを活用させ、経過について調べさせた（調べさせる）	6	3	3	0	0
	C 記事の掲載時期に合わせ、授業計画を変更した（変更する）	0	0	0	0	0
D その他	5	2	3	0	0	

実際の授業時、利用した新聞の掲載日時のずれがないか尋ね、ずれがあった場合の対応を尋ねた。「ずれがなかった」「ずれはあったが気にならなかった」が7割程度だった。ずれが気になった場合は、「テーマについての新聞記事を教師が数点ピックアップし、児童・生徒に提示するなど、当該テーマについての経過が分かるようにした（する）」（9人）、「児童・生徒たちにインターネットや蓄積した切り抜きなどを活用させ、経過について調べさせた（調べさせる）」（6人）との対応をとっている。このほかの対応としては以下の回答があった。

「図書館に備えている新聞から必要な記事を切り抜いた」「必要な記事は教師が保管しておいて授業の時に使う」「縮刷版を利用」「興味ある記事を普段から切り抜かせ、テーマが決まってからは、ストックしておいた新聞も使った」。

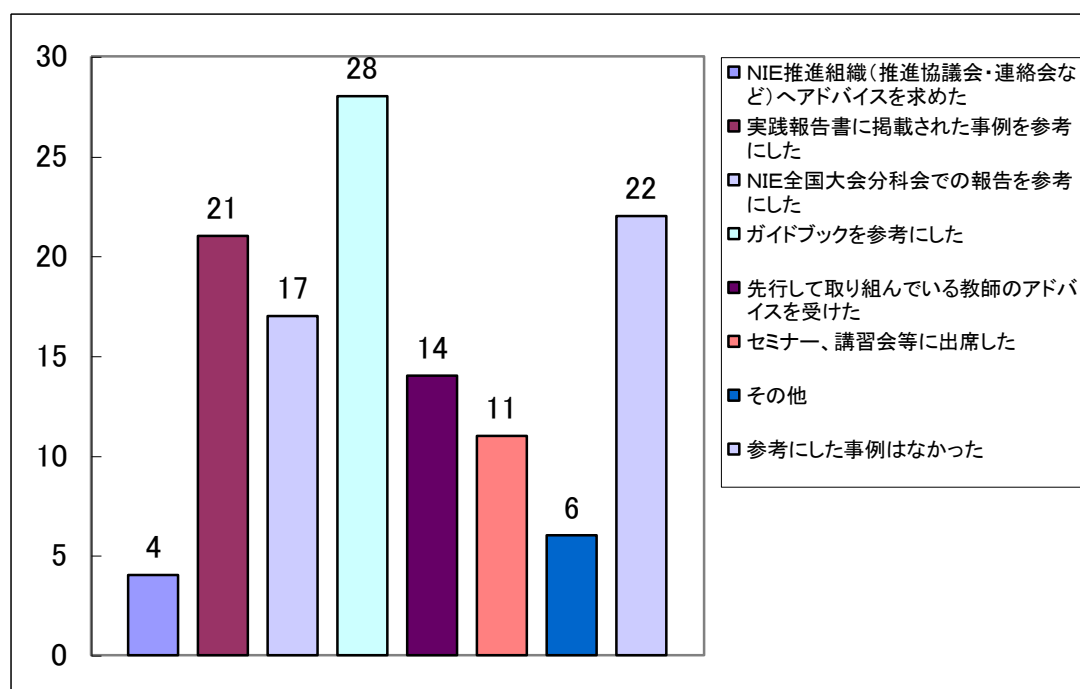
問5 総合的な学習の時間に新聞を利用するに当たって、参考にした事例はありますか。

(複数回答可)

(単位=人)

		全	小	中	高	他
1	NIE推進組織(推進協議会・連絡会など)へアドバイスを求めた	4	1	3	0	0
2	実践報告書に掲載された事例を参考にした	21	11	8	1	1
3	NIE全国大会分科会での報告を参考にした	17	7	9	1	0
4	ガイドブックを参考にした	28	13	13	2	0
5	先行して取り組んでいる教師のアドバイスを受けた	14	6	6	2	0
6	セミナー、講習会等に参加した	11	9	2	0	0
7	その他	6	4	2	0	0
8	参考にした事例はなかった	22	11	9	1	1

(単位=人)



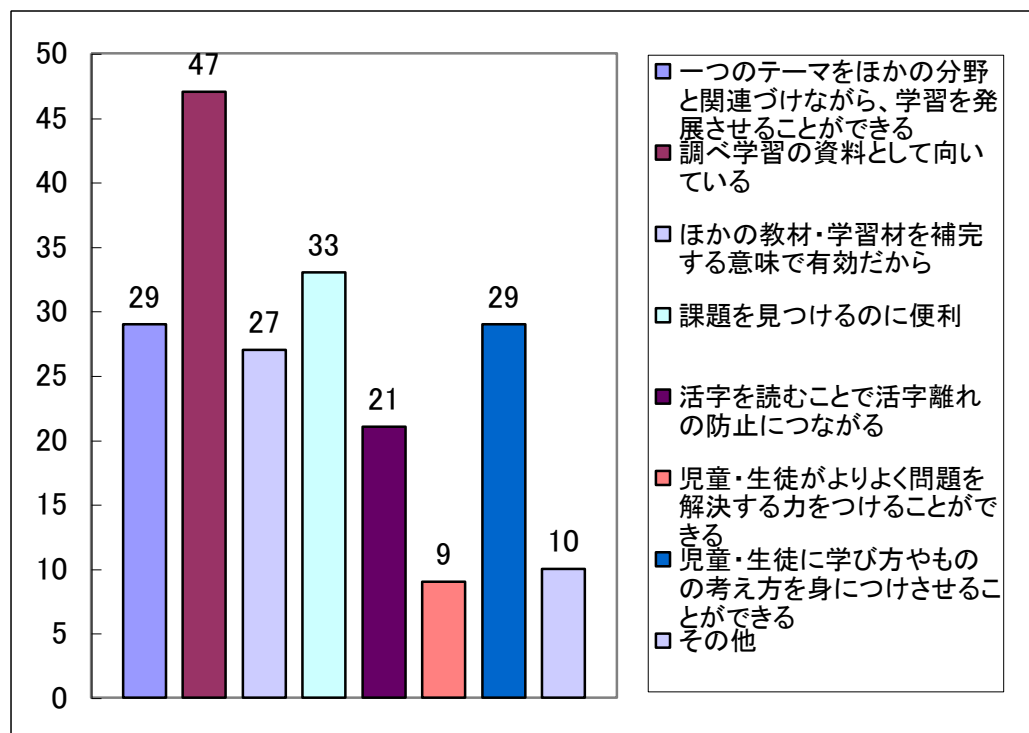
「総合的な学習の時間」で新聞を活用する場合に参考にした事例を聞いたところ(複数回答)、「ガイドブック」が1位の28人、次いで「参考にした事例はなかった」(22人)が多く、「実践報告書」(21人)、「NIE全国大会分科会での報告」(17人)、「先行して取り組んでいる教師のアドバイス」(14人)が続いている。「その他」では、「NIEの公開授業」「NIE関連のホームページ」の回答があった。

問6 「総合的な学習の時間」に新聞を使用する場合、どのような理由から活用されるのですか？（複数回答可）

（単位＝人）

		全	小	中	高	他
1	一つのテーマをほかの分野と関連づけながら、学習を発展させることができる	29	19	9	1	0
2	調べ学習の資料として向いている	47	20	24	1	2
3	ほかの教材・学習材を補完する意味で有効だから	27	14	10	2	1
4	課題を見つけるのに便利	33	20	10	3	0
5	活字を読むことで活字離れの防止につながる	21	11	10	0	0
6	児童・生徒がよりよく問題を解決する力をつけることができる	9	3	5	0	1
7	児童・生徒に学び方やものの考え方を身につけさせることができる	29	14	14	1	0
8	その他	10	7	3	0	0

（単位＝人）



「総合的な学習の時間」に新聞を使用する場合、どのような理由から活用しているかを尋ねた（複数回答）。「調べ学習の資料として向いている」（47人）がトップで、「課題を見つけることに便利」（33人）が次いでいる。3番目には「一つのテーマをほかの分野と関連づけながら、学習を発展させることができる」と「児童・生徒に学び方やものの考え方を身につけさせることができる」をそれぞれ29人が挙げている。

校種別で見ると、小学校では先に挙げた項目以外では「ほかの教材・学習材を補完する

意味で有効だから」とした回答が多く、中学校ではこれに加えて「活字を読むことで活字離れの防止につながる」とした回答も目立つ。

問7 来年度以降も「総合的な学習の時間」に新聞を活用する考えはありますか？

(単位=人)

		全	小	中	高	他
1	活用するつもり	56	29	23	2	2
2	使わないつもり	5	1	4	0	0
	A 実践校を終了するから	3	1	2	0	0
	B 教材となる新聞を入手できないため	0	0	0	0	0
	C 実践する時間的余裕がない	0	0	0	0	0
	D 学校内での理解が得られないから	0	0	0	0	0
	E その他	2	0	2	0	0
3	分からない	12	8	1	3	0

来年度（2002年度）以降も「総合的な学習の時間」に新聞を活用する考えがあるかどうかを尋ねた。「活用するつもり」と答えたのは全体の3分の2にあたる56人で、「分からない」が12人と16%程度で、「使わないつもり」は5人と極めて少ない。使わない理由は、「実践校を終了するから」が3人のほか、「その他」と回答した2人も「教材となる新聞確保のめどが立たない」としていることから、「使わない」は、「使えない」とも読める形となっている。

問8 「総合的な学習の時間」で新聞を使用するに当たって、新聞界に求めたい支援策をお書きください。

- ・語句が大変難しいので、記事を読むことがなかなか難しい。できれば、子どもたちが読みやすい記事も載せていただきたい（同趣旨複数）。
- ・新聞をより分かりやすく、親しみやすい構成および用語等の解説が欲しい（同趣旨複数）
- ・新聞記事を子供向けに書いた面を作ってほしい。また、記事を漫画などで表現したりすると、子どもにわかりやすく、資料として使いやすくなるだろう。
- ・新聞にルビを打ってほしい（同趣旨複数）。
- ・特集記事（基本的事項）を多く組んでほしい
- ・ディベートなどで利用しやすいように、多くの意見を見やすい形式で書いてほしい。
- ・総合的な学習の時間に即したテーマごとに掲載された記事を冊子、サプリメントにまとめてほしい（同趣旨複数）。

- ・テーマに沿った記事、特集を、曜日を決めてそれぞれ続けて載せてほしい。計画的に掲載できるのであれば、その年間計画表が欲しい。そうすれば、新聞計画的購入ができる（同趣旨複数）。
- ・ひとつのテーマで掘り下げたルポなど問題提起を多くしてほしい。
- ・環境問題について、特集でもっと取りあげてほしい。障害者との共生についても同様です（同趣旨複数）。
- ・記事執筆記者名を掲載してほしい
- ・カラー写真がもっと増えるとありがたい。
- ・総合的な学習の内容（学習指導要領等で例としてあげられているもの）にかかわる記事の掲載をお願いしたい。特に事象にかかわるいろいろな立場からの意見、また、それにかかわる人々の工夫や努力、願いなどの紹介などを特集として取りあげていただくと大変助かる（同趣旨複数）
- ・子どもが取り組んだ、総合的な学習の時間での実践を時々、特集としてとりあげてほしい。
- ・N I E 実践紹介のページのさらなる充実をお願いしたい。
- ・もっと夢を持たせるニュースの紹介を。
- ・インターネット、データベース利用がしやすい環境整備を進めてほしい（同趣旨複数）。
- ・過去の記事が容易に調べられるようデータベース利用ができるようにしてほしい（同趣旨複数）。

N I E 調査を読んで

高橋 守 N I E コーディネーター

総合的な学習の時間の調査では、環境、福祉、国際理解、情報、地域、生き方など実に多彩なテーマに活用されていることが明らかになった。まさに新聞教材ならではであろう。

しかも、授業時と記事の掲載時期とのずれについても問題はないようで、実践上の大きな障害はないと言っていい。その実践をめぐっては「ガイドブックを参考に」「実践報告書の事例を参考に」という者が多く、各 N I E 推進協議会の実践報告書作りでも関連した事例に力点を置いていくことが望まれよう。

以 上